

武蔵大学と桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校が 高大接続・高大連携に関する協定を締結

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）と、桐蔭学園高等学校（横浜市青葉区／校長 岡田直哉）、桐蔭学園中等教育学校（横浜市青葉区／校長 玉田裕之）は高大接続・高大連携に関する包括協定を締結しました。また、武蔵大学国際教養学部と協定に基づく具体的な連携事業に関して覚書を取り交わしました。協定及び覚書は、相互の連携により学校教育の充実及び発展、人材育成等に寄与することを目的としています。3月19日、武蔵大学で行われた締結式では、桐蔭学園高等学校の岡田直哉校長、桐蔭学園中等教育学校の玉田裕之校長と本学高橋德行学長及び東郷賢国際教養学部長が協定書及び覚書に署名し、今後の高大接続・高大連携に向けて意見交換が行われました。

桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校との協定に基づく連携事項

主な連携内容は次の通りです。

- （1）教育・研究関連
- （2）「総合的な探究の時間」や「ゼミナール」等における学習支援
- （3）授業、実習及び入学者選抜等の高大接続・高大連携の円滑な推進
- （4）教育・研究、進路についての情報交換、交流等
- （5）主に国際教養学部との連携事業。進路説明会及び類似する各教育活動、並びにキャリア選択にかかる教育機会の提供など連携事業

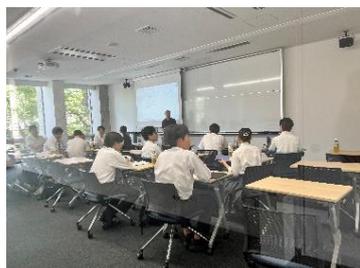
全国の高校等では2022年度から新学習指導要領により「総合的な探究の時間」が導入され、様々な探究教育が展開されています。その中でも桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校は、その「探究」の先駆けともいえる「アクティブラーニング」を早期から取り入れ、伝統的に探究心を育み現在まで進化を続けています。同じように伝統的に「ゼミ」での自調自考を重んじる武蔵大学とは、探究への親和性が高いと考えています。中学生高校生にとって継続して探究心を育てる高大接続改革により、今後AIをツールとして使いこなし、新しい領域や未知の問題への好奇心として地球規模での社会問題解決をめざす人材を社会に送り出すべく連携を強化します。

取り組みのご紹介

- 「桐蔭学園アカデミックキャンプ」8月1日、2日開催。1日目は桐蔭学園、2日目は武蔵大学にて実施。

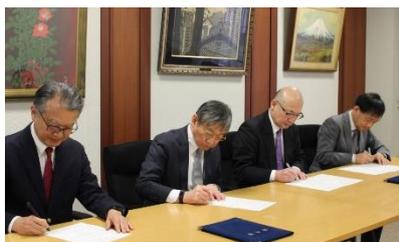
国際教養学部 経済経営学専攻：鈴木唯教授

- 1日目：経済学の紹介および研究紹介（Financial integration and consumption risk sharing and smoothing）
- 2日目：米国トランプ政権による関税政策に対する対処策についての探求



＜アカデミックキャンプの様子＞

締結式の様子



＜締結式の様子＞



＜(左から) 桐蔭学園高等学校岡田校長、桐蔭学園中等教育学校玉田校長、武蔵大学高橋学長、武蔵大学東郷国際教養学部学長＞



＜(左から) 武蔵大学古瀬アドミッションセンター長、桐蔭学園高等学校岡田校長、桐蔭学園中等教育学校玉田校長、武蔵大学高橋学長、武蔵大学東郷国際教養学部学長、桐蔭学園佐藤理事長室長、武蔵大学鈴木国際教養学部経済経営学専攻アカデミックダイレクター＞

桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校

1964（昭和 39）年 4 月、桐蔭学園創立。以来、教育内容、施設の整備・拡大を図り、高等学校・中等教育学校（ともに男女共学）を中心とした幼稚園から大学院までを擁する総合学園へと発展した。変化の激しい次の時代を見据え、「自ら考え判断し行動できる」園児・児童・生徒・学生を育てることを理念としている。高等学校・中等教育学校においては、この理念の実現を図るべく、「アクティブラーニング型授業」「探究」「キャリア教育」を三本柱とした学びを展開している。単なる進学校にとどまることなく、大学入学以降も力強く学び、仕事をし、社会生活を営む生徒を育てることを目指している。高等学校には 3 つのコース（プログレスコース、アドバンスコース、スタンダードコース）を設置。中等教育学校は 6 年間一貫校である。

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から 4 年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の 4 学部 9 学科となった。

2027 年 4 月からスタートする新カリキュラムでは、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部に「ビジネスデータサイエンス専攻」を設置予定。さらに国際教養学部の経済経営学専攻は学びを広げ、「経済・経営・国際関係専攻」へと名称を変更予定。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:増田・西（ますだ・にし）

TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp